

## 大津波警報中、新幹線は動かすな！ 想定外を予想した地震マニュアルを整備せよ！

4月22日本部は、東日本大震災に関する申し入れの業務委員会を開催しました。会社は組合の申し入れに対して、震災の教訓を安全・安定輸送に活かすのではなく、新たな安全対策について国や有識者の見解を待つとの見解を示しました。

会社は、大津波警報発令中の新幹線の運行に対しては「気象庁の情報、ハザードマップにより判断し安全に問題はなかった」、通常3人乗務の新幹線車掌を2人乗務にしたことに対して「安全上問題はなかった」、新幹線やリニア中央新幹線の地震対策に対しては「大きな被害を受けていない東北新幹線の見直された耐震基準に従った耐震補強が効果を上げた。これと同じ基準に従って耐震補強を行った新幹線に特別な追加的補強は必要がない」「リニア中央新幹線は、全く見直す考えはない」と回答しました。これでは、東日本大震災の教訓を活かそうとはいえません。

会社には、今すぐにでも発生する恐れがある東海地震・東南海地震に備える姿勢はありません。私たちは、災害時には危険を回避するために直ちに安全な箇所に列車を止めるか、列車運行を見合わせる体制を取るべきだと考えます。安全の確保ためには、列車の運行＝利益が優先されてはなりません。

今回の大震災では、気象庁も自治体も東京電力も想定外であったと釈明をしています。想定される地震に対し、「想定外」の言い訳は通用しません。

大震災による原発事故として電力不足  
リニア中央新幹線構想は直ちに中止せよ！